規制区分
劇薬、処方箋医薬品
注意－医師等の処方箋により使用すること

キャンディン系抗真菌剤

ファンガード®点滴用25mg／50mg／75mg

Funguard® 25mg/50mg/75mg for Infusion
注射用ミカファンギンナトリウム

本剤の性状、ｐＨ＜電子添文記載値＞
白色の塊
ｐＨ（生理食塩液に溶解）：4.5～8.0
ｐＨ変動試験（生理食塩液に溶解）：変化なし
（但し、ｐＨ8.5で24時間後に残存率86.4%の報告あり）

ファンガード点滴用 配合変化表

＜本剤の性状：白色の塊　ｐＨ(生理食塩液に溶解)：4.5～8.0＞

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜１１１ 全身麻薬剤＞								［９i］その他						
1	1%ディプリバン注	アストラゼネカ	プロポフォール	200mg/20mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	無色澄明 8.1	白色の乳濁液 7.4 －	白色の乳濁液 7.4 －	白色の乳濁液 7.4 －	白色の乳濁液 7.4 －	配合溶液が白濁していたため定量（残存率）は実施せず	2017年
＜１１２ 催眠鎮静剤，抗不安剤＞								［４］ベンゾジアゼピン系製剤						
2	ドルミカム注射液10mg	アステラス	ミダゾラム	10mg/2mL	75mg /5%Gul.10mL	20	⑥	無色澄明の液 3.3	白濁 3.9	白濁 3.8	白濁 3.8	白濁 3.7		2007年
＜１１４ 解熱鎮痛消炎剤＞								［１］アニリン系製剤						
3	アセリオ静注液1000mg バッグ	テルモ	アセトアミノフェン	1000mg/100mL	75mg /Sal.10mL	23	⑥	無色澄明 5.6	無色透明 5.6 100.0	無色透明 5.5 99.3	無色透明 5.5 99.8	無色透明 5.4 98.7		2019年
＜１１４ 解熱鎮痛消炎剤＞								［９ｉ］その他						
4	レペタン注★	大塚製薬	ブプレノルフィン塩酸塩	1mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 4.04	無色澄明の液 4.40 100.0			無色澄明の液 4.39 99.9	遮光保存	2001年
5	ソセゴン注射液30mg★	山之内	ペンタゾシン	30mg/1mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 4.12	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜２１１ 強心剤＞								［５］カフェイン系製剤						
6	ネオフィリン注★	エーザイ	アミノフィリン水和物	250mg/10mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 9.23	無色澄明の液 9.05 100.0	無色澄明の液 9.00 90.8			遮光保存	2001年
6	ネオフィリン注★	エーザイ	アミノフィリン水和物	250mg/10mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 9.23	無色澄明の液 9.02 100.0			微黄色澄明の液 8.95 45.3	遮光保存	2001年
＜２１１ 強心剤＞								［９ｉ］その他						
7	イノバン注★	協和発酵	ドパミン塩酸塩	200mg/10mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 4.05	無色澄明の液 4.52 100.0			無色澄明の液 4.05 102.2	遮光保存	2001年
8	プレドパ注200 (販売中止)	マイラン ＝ ファイザー	ドパミン塩酸塩	200mg/200mL	75mg(1管)/Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 3.7	無色澄明 3.8 100.0	無色澄明 3.9 100.1	無色澄明 3.8 100.0	無色澄明 3.8 99.2	販売中止	2015年
9	ドブトレックス注射液100mg★	塩野義	ドブタミン塩酸塩	100mg/5mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 2.90	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜２１３ 利尿剤＞								［３］抗アルドステロン製剤						
10	ソルダクトン200mg★	モンサント	カンレノ酸カリウム	200mg	75mg /Sal.10mL	2	①（遮光）	微帯黄白色の塊	無色澄明の液 8.92 100.0			無色澄明の液 9.02 49.1	遮光保存	2001年
＜２１３ 利尿剤＞								［４］炭酸脱水素酵素阻害剤						
11	注射用ダイアモックス★	ワイスレダリー－武田	アセタゾラミドナトリウム	500mg	75mg /Sal.10mL	2	①（遮光）	白色の塊	無色澄明の液 9.23 100.0			無色澄明の液 9.20 29.8**	本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存 **：イニシャル時点の繰り返し注入において20%程度のピーク面積の減少が認められた。	2001年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の ／(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表

＜本剤の性状：白色の塊　ｐＨ(生理食塩液に溶解)：4.5～8.0＞

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜２１３ 利尿剤＞								［９ｉ］その他						
12	ラシックス100mg注★	アベンティス	フロセミド	100mg/10mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 9.12	無色澄明の液 8.67 100.0	無色澄明の液 8.65 95.7	無色澄明の液 8.63 94.4		遮光保存	2001年
12	ラシックス100mg注★	アベンティス	フロセミド	100mg/10mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 9.12	無色澄明の液 8.68 100.0			無色澄明の液 8.73 76.4	遮光保存	2001年
＜２１４ 血圧降下剤＞								［９ｉ］その他						
13	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明	白濁 4.0	白濁 4.0	白濁 4.0	白濁 4.1		2010年
13	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL +Sal.100mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 4.9	無色澄明 5.1 100.0	無色澄明 5.2 100.6	無色澄明 5.1 101.2	無色澄明 5.2 100.8		2010年
13	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL +5%Gul.100mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 4.2	白濁※ 4.4	白濁 4.4	白濁 4.4	白色沈殿物 4.3	※：配合直後はいったん無色澄明の液となるが１分後に白濁	2010年
13	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL +5%Gul.200mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 4.3	白濁 4.4	白濁 4.4	白濁 4.4	白色沈殿物 4.4		2010年
＜２１７ 血管拡張剤＞								［９ｉ］その他						
14	ハンプ注射用1000	第一三共	カルペリチド（遺伝子組換え）	1,000μg /D.W.5mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	白色 －	無色澄明 5.5 100.0	無色澄明 5.6 100.2	無色澄明 5.6 101.1	無色澄明 5.4 103.2	保冷品から室温保存品に切り替えられたことに伴い、新データを取得	2017年
＜２１９ その他の循環器官用薬＞								［ＯＪ］配合剤						
15	グリセオール注★	大塚工場 － 中外	濃グリセリン・果糖	200mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 3.71	無色澄明の液 3.68 100.0			無色澄明の液 3.68 102.5	遮光保存	2001年
＜２２１ 呼吸促進剤＞								［９ｉ］その他						
16	ドプラム注射液★	キッセイ	ドキサプラム塩酸塩水和物	400mg/20mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 3.83	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜２２３ 去たん剤＞								［４］ブロムヘキシン製剤						
17	ビソルボン注射液★	ＢＩＳ － 日本ベーリンガー	ブロムヘキシン塩酸塩	4mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 2.69	無色澄明の液 3.09 100.0			無色澄明の液 3.04 100.2	遮光保存	2001年
＜２３２ 消化性潰瘍剤＞								［５］H_2遮断剤						
18	タガメット注射液200mg★	藤沢 － ＳＢＳ	シメチジン	200mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 5.40	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
19	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +5%Gul.18mL	75mg /5%Gul.10mL	20	⑥	無色澄明の液 5.9	無色澄明の液 6.0 100.0	無色澄明の液 6.1 99.2	無色澄明の液 6.1 99.5	無色澄明の液 6.1 100.3		2007年
20	ザンタック注射液★ (販売中止)	グラクソ・ウェルカム ＝ 三共	ラニチジン塩酸塩	100mg*/4mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.98	無色澄明の液 6.82 100.0			無色澄明の液 6.70 98.7	＊：ラニチジン塩酸塩として112mg／ラニチジンとして100mg 遮光保存 販売中止	2001年
＜２３２ 消化性潰瘍剤＞								［９i］その他						
21	オメプラール注用20	アストラゼネカ	オメプラゾールナトリウム	20mg /Sal.20mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	白色 －	無色澄明 9.2 100.0	無色澄明 9.2 97.7	無色澄明 9.2 88.5	微黄色澄明 9.3 58.7		2017年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜２３９ その他の消化器官用薬＞								［１］鎮吐剤						
22	ゾフラン注4★ (販売中止)	グラクソ・ウェルカム ＝ 三共	オンダンセトロン塩酸塩水和物	4mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 3.42	無色澄明の液 3.90 100.0			無色澄明の液 3.90 100.3	遮光保存 販売中止	2001年
23	カイトリル注射液★	ＳＢＳ	グラニセトロン塩酸塩	3mg*/3mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.49	無色澄明の液 5.56 100.0			無色澄明の液 5.57 99.0	＊：グラニセトロン塩酸塩として3.35mg／グラニセトロンとして3mg 遮光保存	2001年
24	ナゼア注射液0.3mg★	山之内	ラモセトロン塩酸塩	0.3mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 4.43	無色澄明の液 4.56 100.0			無色澄明の液 4.50 100.4	遮光保存	2001年
＜２３９ その他の消化器官用薬＞								［９ｉ］その他						
25	プリンペラン注射液★	藤沢	塩酸メトクロプラミド	10mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 3.18	無色澄明の液 4.11 100.0			無色澄明の液 4.03 100.8	遮光保存	2001年
＜２４５ 副腎ホルモン剤＞								［１］エピネフリン製剤						
26	ノルアドレナリン注1mg	第一三共	ノルアドレナリン注射液	1mg/1mL ＋Sal.250mL	75mg /Sal.10mL	21	⑥	無色澄明 2.4	無色澄明 5.5 100.0	無色澄明 5.5 99.6	無色澄明 5.6 100.6	無色澄明 5.5 100.6		2016年
＜２４５ 副腎ホルモン剤＞								［２］コルチゾン系製剤						
27	ソル・コーテフ★	住友製薬 － Ｐ＆Ｕ	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	100mg*	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 7.39 100.0			無色澄明の液 7.13 99.5	＊：ヒドロコルチゾンとして100mg／ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウムとして133.7mg 遮光保存	2001年
＜２４５ 副腎ホルモン剤＞								［４］フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤						
28	デカドロン注射液★	万有	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	6.6mg*/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.84	無色澄明の液 7.59 100.0			無色澄明の液 7.49 98.6	＊：デキサメタゾンリン酸エステルとして8mg／デキサメタゾンとして6.6mg 遮光保存	2001年
29	リンデロン注★	塩野義	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	2mg*/0.5mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.56	無色澄明の液 7.23 100.0			無色澄明の液 7.17 99.8	＊：ベタメタゾンリン酸エステルナトリウムとして2.65mg／ベタメタゾンとして2mg 遮光保存	2001年
＜２４５ 副腎ホルモン剤＞								［６］プレドニゾロン系製剤						
30	水溶性プレドニン50mg★	塩野義	プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	50mg*	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 6.63 100.0			無色澄明の液 6.59 98.7	＊：プレドニゾロンコハク酸エステルとして63.9mg／プレドニゾロンとして50mg 遮光保存	2001年
31	ソル・メドロール1000★	Ｐ＆Ｕ	メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム	1g*	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 7.71 100.0			無色澄明の液 7.52 93.7	＊：メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウムとして1326mg／メチルプレドニゾロンとして1000mg 遮光保存	2001年
＜２４９ その他のホルモン剤（坑ホルモン剤を含む。）＞								［２］すい臓ホルモン剤						
32	ノボリンＲ注100単位/mL	ノボ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	1000単位/10mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 7.4	無色澄明 7.0 100.0	無色澄明 7.0 100.1	無色澄明 7.0 99.2	無色澄明 7.0 99.3		2010年
33	ヒューマリンＲ注100単位/mL	リリー	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	1000単位/10mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 7.4	無色澄明 6.9 100.0	無色澄明 6.9 99.5	無色澄明 6.9 99.8	無色澄明 6.9 99.5		2010年
＜３１２ ビタミンＢ$_1$剤＞								［２］ビタミンＢ$_1$誘導体製剤						
34	アリナミンＦ100注★	武田	フルスルチアミン塩酸塩	100mg*/20mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 2.93	無色澄明の液 3.31 100.0			無色澄明の液 3.27 99.7	＊：フルスルチアミンとして100mg／フルスルチアミン塩酸塩として109.16mg 遮光保存	2001年
＜３１３ ビタミンＢ剤（ビタミンＢ$_1$剤を除く。）＞								［１］ビタミンＢ$_2$剤						
35	フラビタン注射液20mg★	トーアエイヨー － 山之内	フラビンアデニンジヌクレオチド	20mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	橙色澄明の液 5.61	淡黄色澄明の液 5.50 100.0			帯褐黄色澄明の液 5.49 99.6	遮光保存	2001年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜３１３ ビタミンＢ剤（ビタミンＢ$_1$剤を除く。）＞								［３］パントテン酸系製剤						
36	パントシン注10%★	第一製薬	パンテチン	200mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 4.76	無色澄明の液 4.61 100.0			無色澄明の液 4.63 102.0	遮光保存	2001年
＜３１３ ビタミンＢ剤（ビタミンＢ$_1$剤を除く。）＞								［３］パントテン酸系製剤						
37	パントール注射液100mg	トーアエイヨー＝アステラス	パンテノール	100mg/1mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	無色澄明 5.1	無色透明 4.9 100.0	無色透明 4.9 98.1	無色透明 4.8 96.9	無色透明 4.8 96.8		2019年
＜３１６ ビタミンＫ剤＞								［０］ビタミンＫ製剤						
38	ケイツーＮ注★	エーザイ	メナテトレノン(2)	10mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	微黄色の乳濁した液 7.43	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜３１７ 混合ビタミン剤（ビタミンＡ・Ｄ混合製剤を除く。）＞								［９Ｋ］ＶＢ$_1$・ＶＢ$_6$・ＶＢ$_{12}$複合剤（ＶＢ$_2$配合を含む）						
39	ネオラミン・スリービー液（静注用）★	日本化薬	チアミンジスルフィド・Ｂ$_6$・Ｂ$_{12}$配合剤	10mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	淡赤色澄明の液 3.43	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
40	ビタメジン静注用★	三共	リン酸チアミンジスルフィド・Ｂ$_6$・Ｂ$_{12}$配合剤	1ﾊﾞｲｱﾙ	75mg /Sal.10mL	2	①（遮光）	帯赤白色の塊	淡赤色澄明の液 4.49 100.0			淡赤色澄明の液 4.53 100.4	遮光保存	2001年
＜３１７ 混合ビタミン剤（ビタミンＡ・Ｄ混合製剤を除く。）＞								［９Ｎ］総合ビタミン剤						
41	オーツカＭＶ注★	大塚製薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(2)	1号(凍乾品)・2号(液剤) 4mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	帯褐黄色澄明の液 5.96	黄色澄明の液 5.89 100.0			黄色澄明の液 5.84 100.7	遮光保存	2001年
42	ネオラミン・マルチＶ★（販売中止）	日本化薬 ＝ 科研	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(4)	1ﾊﾞｲｱﾙ	75mg /Sal.10mL	2	①（遮光）	黄色の塊	黄色澄明の液 4.89 100.0			帯褐黄色澄明の液 4.97 99.4	遮光保存 販売中止	2001年
43	マルタミン注射用★	味の素製薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(6)	1ﾊﾞｲｱﾙ /Sal.5mL	75mg /Sal.10mL	20	⑤（遮光）	黄褐色澄明 4.8	黄色澄明 4.7 100.0	黄色澄明 4.8 98.9	黄色澄明 4.8 99.5	黄色澄明 4.8 99.7	遮光保存	2010年
44	ビタジェクト	テルモ ＝ 日本化薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	Ａ液(5mL)・Ｂ液(5mL)	75mg /Sal.10mL	20	⑥	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.8 100.0	黄色澄明 4.9 100.4	黄色澄明 4.9 100.0	黄色澄明 5.0 99.0		2010年
＜３１７ 混合ビタミン剤（ビタミンＡ・Ｄ混合製剤を除く。）＞								［９Ｔ］その他の配合剤						
45	シーパラ注	高田	チアミン・ニコチン酸アミド配合剤	2mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	橙黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9 100.0	黄色澄明 4.9 94.8	黄色澄明 5.0 99.1	黄色澄明 5.0 98.5		2016年
＜３２１ カルシウム剤＞								［３］グルコン酸カルシウム製剤						
46	カルチコール注射液8.5%10mL	日医工	グルコン酸カルシウム水和物	850mg/10mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 7.2	無色澄明 6.7 100.0	無色澄明 6.8 101.1	無色澄明 6.8 100.5	無色澄明 6.8 100.7		2010年
＜３２２ 無機質製剤＞								［２］鉄化合物製剤（有機酸鉄を含む。）						
47	フェジン静注40mg	日医工	含糖酸化鉄	40mg/2mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	暗褐色 10.0	黒褐色 8.9 100.0	黒褐色 8.9 93.8	黒褐色 8.8 91.9	黒褐色 8.7 79.8		2011年
＜３２２ 無機質製剤＞								［９ｉ］その他						
48	アスパラカリウム注10mEq	田辺三菱	L-アスパラギン酸カリウム	1.712g/10mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 7.2	無色澄明 7.0 100.0	無色澄明 7.0 100.0	無色澄明 7.1 100.8	無色澄明 7.0 99.6		2010年
48	アスパラカリウム注10mEq	田辺三菱	L-アスパラギン酸カリウム	1.712g/10mL ＋Sal.30mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 7.0	無色澄明 7.0 100.0	無色澄明 7.0 101.1	無色澄明 7.0 100.9	無色澄明 7.0 100.3		2010年
49	Ｋ．Ｃ．Ｌ．点滴液15%	丸石	塩化カリウム（リン酸リボフラビン添加）	3g/20mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	黄色澄明 5.6	黄色澄明 5.6 100.0	黄色澄明 5.6 99.1	黄色澄明 5.6 99.2	黄色澄明 5.4 98.2		2010年
49	Ｋ．Ｃ．Ｌ．点滴液15%	丸石	塩化カリウム（リン酸リボフラビン添加）	3g/20mL ＋Sal.1000mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	淡黄色澄明 6.2	淡黄色澄明 6.3 100.0	淡黄色澄明 6.3 98.7	淡黄色澄明 6.3 98.4	微黄色澄明 6.2 96.1		2010年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜３２２ 無機質製剤＞								［９Ｋ］微量元素配合剤						
50	エレメンミック注	味の素 ＝ 味の素ファルマ	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	8mL(4管)	75mg /Sal.10mL	20	⑥	暗赤褐色澄明の液 5.4	暗赤褐色澄明の液 5.4 100.0	暗赤褐色澄明の液 5.5 100.6	暗赤褐色澄明の液 5.5 100.3	暗赤褐色澄明の液 5.6 100.3		2007年
51	ミネラリン注	日本製薬 ＝ 武田	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	暗赤褐色澄明 5.3	暗赤褐色澄明 5.3 100.0	暗赤褐色澄明 5.4 99.7	暗赤褐色澄明 5.4 99.5	暗赤褐色澄明 5.5 98.9		2010年
＜３２３ 糖類＞								［１］ブドウ糖製剤						
52	大塚糖液5%	大塚工場 ＝ 大塚製薬	ブドウ糖	5% 250mL	100mg (2管)	3	⑥	無色澄明 4.6	無色澄明 4.8		無色澄明 4.8	無色澄明 4.8	ミカファンギンナトリウム濃度：0.4mg/mL	2006年
53	大塚糖液5%★	大塚工場	ブドウ糖	5% 100mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明 5.11	無色澄明 5.33 100.0			無色澄明 5.25 102.3	ミカファンギンナトリウム濃度：0.75mg/mL 遮光保存	2001年
52	大塚糖液5%	大塚工場 ＝ 大塚製薬	ブドウ糖	5% 10mL	75mg	3	⑥	無色澄明 4.6	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.4	ミカファンギンナトリウム濃度：7.5mg/mL	2006年
54	テルモ糖注5%	テルモ	ブドウ糖	5% 250mL	100mg (2管)	3	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4		無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	ミカファンギンナトリウム濃度：0.4mg/mL	2006年
54	テルモ糖注5%	テルモ	ブドウ糖	5% 10mL	75mg	3	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.6	無色澄明 5.8	無色澄明 5.4	無色澄明 5.7	ミカファンギンナトリウム濃度：7.5mg/mL	2006年
55	大塚糖液50%	大塚工場 ＝ 大塚製薬	ブドウ糖	50% 20mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 3.7	無色澄明 3.8 100.0	無色澄明 3.9 100.1	無色澄明 3.9 100.1	無色澄明 3.8 100.2		2010年
＜３２３ 糖類＞								［４］キシリトール製剤						
56	キシリトール注20%	大塚工場 ＝ 大塚製薬	キシリトール	4g/20mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	無色澄明 5.9	無色澄明 5.7 100.0	無色澄明 5.7 100.6	無色澄明 5.7 99.7	無色澄明 5.7 100.7		2016年
＜３２３ 糖類＞								［９Ｔ］その他の配合剤						
57	ハイカリックＲＦ輸液	テルモ	高カロリー輸液用基本液(5-7)	250mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 4.5	無色澄明 4.5 100.0	無色澄明 4.5 99.9	無色澄明 4.5 100.6	無色澄明 4.5 99.8		2010年
＜３２５ たん白アミノ酸製剤＞								［３］混合アミノ酸製剤						
58	アミノレバン点滴静注	大塚工場 ＝ 大塚製薬	肝不全用アミノ酸製剤(1)	200mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9 100.0	無色澄明 5.9 99.9	無色澄明 5.9 100.3	無色澄明 5.9 100.0		2010年
59	アミパレン輸液	大塚工場 ＝ 大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	200mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9 100.0	無色澄明 6.9 100.1	無色澄明 6.9 100.3	無色澄明 6.9 99.5		2010年
60	ネオアミユー輸液	味の素製薬	腎不全用アミノ酸製剤(1-2)	200mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 7.1	無色澄明 7.2 100.0	無色澄明 7.2 99.8	無色澄明 7.2 99.4	無色澄明 7.2 98.8		2010年
61	キドミン輸液	大塚工場 ＝ 大塚製薬	腎不全用アミノ酸製剤(2-1)	200mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9 100.0	無色澄明 6.9 100.3	無色澄明 6.9 100.4	無色澄明 6.9 99.9		2010年
＜３２５ たん白アミノ酸製剤＞								［９Ｎ］混合アミノ酸・ブドウ糖・無機塩類製剤						
62	アミノトリパ１号輸液(販売中止)	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質(2-1)	上室(250mL)・下室(600mL)	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6 100.0	無色澄明 5.6 100.4	無色澄明 5.6 99.8	無色澄明 5.5 100.3	販売中止	2010年
63	アミノトリパ２号(販売中止)	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-2)	上室(300mL)・下室(600mL)	50mg	3	②		無色澄明の液 5.54 100.0			無色澄明の液 5.47 95.8	販売中止	2003年
64	アミノフリード★(販売中止)	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	上室(150mL)・下室(350mL)	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.68	無色澄明の液 6.71 100.0			無色澄明の液 6.49 98.7	遮光保存 販売中止	2001年
65	ツインパル	味の素 ＝ 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	Ⅰ層(350mL)・Ⅱ層(150mL)	75mg	3	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7 100.0	無色澄明の液 6.7 101.2	無色澄明の液 6.7 100.9	無色澄明の液 6.6 99.8		2007年
65	ツインパル	味の素 ＝ 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	50mL※	150mg /Sal.50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.8 100.0	無色澄明の液 6.8 99.6	無色澄明の液 6.7 100.7	無色澄明の液 6.7 100.3	※：Ⅰ層(350mL)・Ⅱ層(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
65	ツインパル	味の素 ＝ 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	50mL※	150mg /5%Gul.50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.8 100.0	無色澄明の液 6.8 101.1	無色澄明の液 6.7 101.1	無色澄明の液 6.7 98.9	※：Ⅰ層(350mL)・Ⅱ層(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜３２５ たん白アミノ酸製剤＞								［９Ｎ］混合アミノ酸・ブドウ糖・無機塩類製剤						
66	ピーエヌツインー１号輸液	味の素製薬	アミノ酸・糖・電解質(3-1)	Ⅰ層(800mL)・Ⅱ層(200mL)	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0 100.0	無色澄明 5.0 100.4	無色澄明 5.0 97.3	無色澄明 5.0 101.1		2010年
67	ピーエヌツインー２号輸液	味の素製薬	アミノ酸・糖・電解質(3-2)	Ⅰ層(800mL)・Ⅱ層(300mL)	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1 100.0	無色澄明 5.1 101.3	無色澄明 5.1 100.8	無色澄明 5.1 100.8		2010年
68	ピーエヌツインー３号＊	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	Ⅰ層(800mL)・Ⅱ層(400mL)	50mg	3	②		無色澄明の液 5.13 100.0			無色澄明の液 5.11 89.2		2003年
68	ピーエヌツインー３号＊	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	Ⅰ層(800mL)・Ⅱ層(400mL)	50mg	3	②		無色澄明の液 5.15 100.0		無色澄明の液 5.15 98.2			2003年
＜３２５ たん白アミノ酸製剤＞								［９Ｔ］その他の配合剤						
69	フルカリック１号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	大室(700mL)・中室(200mL)・小室(3mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.1	淡黄色澄明の液 5.1 100.0	微黄色澄明の液 5.1 99.6	微黄色澄明の液 5.1 99.5	微黄色澄明の液 5.1 97.9		2007年
69	フルカリック１号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	50mL※	150mg /5%Gul.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1 100.0	微黄色澄明の液 5.2 100.3	微黄色澄明の液 5.1 100.5	微黄色澄明の液 5.1 99.7	※：大室(700mL)・中室(200mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
69	フルカリック１号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	50mL※	150mg /Sal.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1 100.0	微黄色澄明の液 5.1 99.7	微黄色澄明の液 5.1 100.2	微黄色澄明の液 5.1 99.2	※：大室(700mL)・中室(200mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
70	フルカリック２号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	大室(700mL)・中室(300mL)・小室(3mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.3	淡黄色澄明の液 5.3 100.0	微黄色澄明の液 5.3 100.9	微黄色澄明の液 5.3 100.0	微黄色澄明の液 5.4 99.9		2007年
70	フルカリック２号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	50mL※	150mg /5%Gul.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.4 100.0	微黄色澄明の液 5.4 100.4	微黄色澄明の液 5.4 100.2	微黄色澄明の液 5.4 100.1	※：大室(700mL)・中室(300mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
70	フルカリック２号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	50mL※	150mg /Sal.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3 100.0	微黄色澄明の液 5.3 100.2	微黄色澄明の液 5.3 100.9	微黄色澄明の液 5.3 100.3	※：大室(700mL)・中室(300mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
71	フルカリック３号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	大室(700mL)・中室(400mL)・小室(3mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.5	淡黄色澄明の液 5.5 100.0	微黄色澄明の液 5.5 99.6	微黄色澄明の液 5.5 99.1	微黄色澄明の液 5.5 98.9		2007年
71	フルカリック３号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	50mL※	150mg /5%Gul.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.7 100.0	微黄色澄明の液 5.6 100.1	微黄色澄明の液 5.6 100.3	微黄色澄明の液 5.5 99.3	※：大室(700mL)・中室(400mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
71	フルカリック３号	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	50mL※	150mg /Sal.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.6 100.0	微黄色澄明の液 5.6 99.9	微黄色澄明の液 5.6 100.6	微黄色澄明の液 5.5 99.5	※：大室(700mL)・中室(400mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
72	ネオパレン１号	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.6	淡黄色澄明の液 5.6 100.0	微黄色澄明の液 5.6 100.3	微黄色澄明の液 5.6 98.5	微黄色澄明の液 5.7 99.1		2007年
72	ネオパレン１号	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	50mL※	150mg /Sal.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.7 100.0	微黄色澄明の液 5.7 100.1	微黄色澄明の液 5.7 99.7	微黄色澄明の液 5.6 98.4	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
72	ネオパレン１号	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	50mL※	150mg /5%Gul.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.7 100.0	微黄色澄明の液 5.7 100.1	微黄色澄明の液 5.7 99.7	微黄色澄明の液 5.7 99.2	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
73	ネオパレン２号	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.4	淡黄色澄明の液 5.4 100.0	微黄色澄明の液 5.4 100.4	微黄色澄明の液 5.4 101.7	微黄色澄明の液 5.4 98.8		2007年
73	ネオパレン２号	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	50mL※	150mg /Sal.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4 100.0	微黄色澄明の液 5.4 99.7	微黄色澄明の液 5.4 99.8	微黄色澄明の液 5.4 99.3	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
73	ネオパレン２号	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	50mL※	150mg /5%Gul.50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.5 100.0	微黄色澄明の液 5.5 99.3	微黄色澄明の液 5.5 99.2	微黄色澄明の液 5.4 99.3	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
74	エルネオパ１号輸液	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-3)	上室(692mL)・小室V (4mL)・小室T (4mL)・	75mg /Sal.10mL	20	⑥	黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1 100.0	微黄色澄明 5.1 99.1	微黄色澄明 5.2 101.9	微黄色澄明 5.1 100.9		2010年
75	エルネオパ２号輸液	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-4)	上室(692mL)・小室V (4mL)・小室T (4mL)・	75mg /Sal.10mL	20	⑥	黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3 100.0	微黄色澄明 5.3 100.8	微黄色澄明 5.3 100.5	微黄色澄明 5.3 99.4		2010年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の ／(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
76	アミグランド輸液	テルモ ＝ 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(3)	大室(350mL)・小室(150mL)	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8 100.0	無色澄明 6.7 99.6	無色澄明 6.7 99.5	無色澄明 6.7 99.0		2010年
77	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	50mL※	75mg /Sal.50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8 100.0	無色澄明の液 6.8 100.2	無色澄明の液 6.8 99.9	無色澄明の液 6.8 99.5	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
77	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	500mL※	75mg /Sal.50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8 100.0	無色澄明の液 6.8 100.4	無色澄明の液 6.8 97.2	無色澄明の液 6.8 99.8	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
77	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	50mL※	75mg /5%Gul.50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8 100.0	無色澄明の液 6.8 100.1	無色澄明の液 6.8 100.4	無色澄明の液 6.8 100.1	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
77	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 ＝ 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(4)	500mL※	75mg /5%Gul.50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8 100.0	無色澄明の液 6.8 100.2	無色澄明の液 6.8 99.3	無色澄明の液 6.8 98.1	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量を本剤と配合	2007年
78	パレプラス輸液	エイワイファーマ ＝ 陽進堂	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(3-2)	500mL※	75mg /Sal.10mL	24	⑥	微黄色澄明 6.9	淡黄色澄明 7.0 100.0	淡黄色澄明 6.9 100.9	淡黄色澄明 6.9 100.9	淡黄色澄明 6.9 100.6	※：大室液＋小室液混合後、500mL	2016年

＜３３１　血液代用剤＞　［１］生理食塩類

79	大塚食塩注10%	大塚工場 ＝ 大塚製薬	塩化ナトリウム	10% 20mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 6.1	無色澄明 5.5 100.0	無色澄明 5.6 99.6	無色澄明 5.6 98.8	無色澄明 5.6 99.2		2010年

＜３３１　血液代用剤＞　［９Ｊ］塩化ナトリウム・ブドウ糖剤

80	ソルデム１輸液	テルモ	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	200mL	75mg /Sal.10mL	23	⑥	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1 100.0	無色澄明 6.2 100.2	無色澄明 6.2 101.2	無色澄明 6.2 103.0		2017年
81	ソリターＴ１号★	清水 － 武田	開始液(1)／塩化ナトリウム・ブドウ糖剤	200mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.08	無色澄明の液 5.08 100.0			無色澄明の液 5.07 101.0	遮光保存	2001年

＜３３１　血液代用剤＞　［９Ｌ］乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤

82	ソリターＴ３号★	清水 － 武田	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.09	無色澄明の液 5.11 100.0			無色澄明の液 5.08 101.6	遮光保存	2001年
83	ソルデム３Ａ輸液	テルモ	維持液(3)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8 100.0	無色澄明 5.8 100.5	無色澄明 5.8 100.5	無色澄明 5.8 100.1		2010年
84	ＫＮ補液３Ｂ★	大塚工場	維持液(6)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.35	無色澄明の液 5.34 100.0			無色澄明の液 5.33 101.4	遮光保存	2001年
85	フィジオゾール・３号★	小林薬工 － ウェルファイド	維持液(9)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 4.70	無色澄明の液 4.71 100.0			無色澄明の液 4.71 102.0	遮光保存	2001年
86	ＥＬ－３号★	味の素ファルマ	維持液(12)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	500mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.46	無色澄明の液 5.43 100.0			無色澄明の液 5.45 105.2	遮光保存	2001年
87	ソリターＴ４号★	清水 － 武田	術後回復液(2)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.07	無色澄明の液 5.04 100.0			無色澄明の液 5.02 99.5	遮光保存	2001年
88	ソリターＴ２号★	清水 － 武田	脱水補給液(4)／乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 4.87	無色澄明の液 4.85 100.0			無色澄明の液 4.85 99.1	遮光保存	2001年

＜３３１　血液代用剤＞　［９Ｍ］リンゲル製剤

89	ヴィーンＦ注★	日研	酢酸リンゲル液	500mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.93	無色澄明の液 6.89 100.0			無色澄明の液 6.90 101.9	遮光保存	2001年
90	ヴィーンＤ注★	日研	酢酸リンゲル液（ブドウ糖加）	500mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.31	無色澄明の液 5.30 100.0			無色澄明の液 5.26 100.2	遮光保存	2001年
91	ソルラクト★	テルモ	乳酸リンゲル液	250mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.30	無色澄明の液 6.30 100.0			無色澄明の液 6.30 100.5	遮光保存	2001年
92	ラクテック注★	大塚工場	乳酸リンゲル液	250mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.57	無色澄明の液 6.55 100.0			無色澄明の液 6.55 102.8	遮光保存	2001年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の ／(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
93	ハルトマン液-ヨシトミ★	菱山 － ウエルファイド	乳酸リンゲル液	500mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.73	無色澄明の液 6.65 100.0			無色澄明の液 6.61 96.8	遮光保存	2001年
94	ソルラクトＳ★	テルモ	乳酸リンゲル液（ソルビトール加）	250mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.27	無色澄明の液 6.29 100.0			無色澄明の液 6.29 99.3	遮光保存	2001年
95	ラクテックＧ注★	大塚工場	乳酸リンゲル液（ソルビトール加）	250mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 6.46	無色澄明の液 6.38 100.0			無色澄明の液 6.40 103.4	遮光保存	2001年
96	低分子デキストランＬ注★	大塚工場	乳酸リンゲル液（デキストラン40加）(1)	250mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 5.35	無色澄明の液 5.34 100.0			無色澄明の液 5.34 99.8	遮光保存	2001年
97	ポタコールＲ★	大塚工場	乳酸リンゲル液（マルトース加）	250mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 4.83	無色澄明の液 4.86 100.0			無色澄明の液 4.85 99.2	遮光保存	2001年

＜３３１　血液代用剤＞　　［９Ｔ］その他の配合剤

98	フィジオ35輸液	大塚工場 ＝ 大塚製薬	維持液（ブドウ糖加）(2)／血液代用剤	250mL	75mg/Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0 100.0	無色澄明 5.0 99.8	無色澄明 5.0 100.1	無色澄明 5.1 99.3		2010年
99	ヴィーン３Ｇ注*★	日研	酢酸維持液（ブドウ糖加）／血液代用剤	500mL	50mg	3※	①(遮光)	無色澄明の液 5.34	無色澄明の液 5.35 100.0		無色澄明の液 5.34 99.8	無色澄明の液 5.34 98.4	※：配合剤5mLにて本剤を溶解 遮光保存	2005年
100	アクチット注	興和 ＝ 興和創薬	酢酸維持液(1)／血液代用剤	200mL	75mg/Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4 100.0	無色澄明 5.4 100.3	無色澄明 5.4 99.7	無色澄明 5.4 99.6		2010年

＜３３２　止血剤＞　　［１］カルバゾクロム系製剤

101	アドナ(AC-17)注射液(静脈用)★	田辺	カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物	100mg/20mL	75mg/Sal.10mL	1	①(遮光)	橙色澄明の液 5.86	帯褐黄色澄明の液 5.61 100.0			帯褐黄色澄明の液 5.64 100.5	遮光保存	2001年

＜３３２　止血剤＞　　［７］抗プラスミン剤

102	トランサミン注★	第一製薬	トラネキサム酸	250mg/5mL	75mg/Sal.10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 7.46	無色澄明の液 7.14 100.0			無色澄明の液 7.11 99.0	遮光保存	2001年

＜３３３　血液凝固阻止剤＞　　［４］ヘパリン製剤

103	フラグミン静注5000単位/5mL	ファイザー ＝ キッセイ	ダルテパリンナトリウム	5千低分子ﾍﾊﾟﾘﾝ国際単位/5mL	75mg/Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 6.6	無色澄明 6.0 100.0	無色澄明 6.0 98.7	無色澄明 6.0 100.1	無色澄明 6.0 99.2		2010年
104	ヘパリンカルシウム注射液	味の素 ＝ 味の素ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL +5%Gul.1000mL	150mg/5%Gul.100mL	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 5.1 100.0	無色澄明の液 5.0 99.8	無色澄明の液 5.0 98.9	無色澄明の液 5.1 98.7		2007年
104	ヘパリンカルシウム注射液	味の素 ＝ 味の素ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL +Sal.1000mL	150mg/Sal.100mL	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 6.4 100.0	無色澄明の液 6.3 99.1	無色澄明の液 6.3 99.3	無色澄明の液 6.3 97.3		2007年
104	ヘパリンカルシウム注射液	味の素 ＝ 味の素ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL	300mg/5%Gul.40mL	20	⑥	無色澄明の液 7.1	無色澄明の液 5.8 100.0	無色澄明の液 5.8 99.7	無色澄明の液 5.9 99.4	無色澄明の液 5.9 99.7		2007年
104	ヘパリンカルシウム注射液	味の素 ＝ 味の素ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL	300mg/Sal.40mL	20	⑥	無色澄明の液 7.1	無色澄明の液 5.9 100.0	無色澄明の液 6.0 99.9	無色澄明の液 6.0 100.3	無色澄明の液 6.0 101.2		2007年
106	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL +Sal.1000mL	150mg/Sal.100mL	20	⑥	無色澄明の液 6.5	無色澄明の液 6.4 100.0	無色澄明の液 6.3 99.9	無色澄明の液 6.3 99.4	無色澄明の液 6.3 98.6		2007年
106	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL	300mg/Sal.40mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.0 100.0	無色澄明の液 6.0 98.0	無色澄明の液 5.9 98.7	無色澄明の液 6.0 99.0		2007年
106	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL +5%Gul.1000mL	150mg/5%Gul.100mL	20	⑥	無色澄明の液 6.5	無色澄明の液 6.0 100.0	無色澄明の液 5.8 99.8	無色澄明の液 5.7 100.6	無色澄明の液 5.7 99.3		2007年
106	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL	300mg/5%Gul.40mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.3 100.0	無色澄明の液 6.2 100.1	無色澄明の液 6.3 99.8	無色澄明の液 6.2 100.2		2007年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜３３９ その他の血液・体液用薬＞								［９ｉ］その他						
107	グラン注射液150	協和発酵キリン	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	150μg/0.6mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 4.1	無色澄明 4.5 100.0	無色澄明 4.5 99.0	無色澄明 4.5 100.4	無色澄明 4.5 99.7	配合薬剤の電子添文に「本剤を投与する場合は他剤との混注を行わないこと」と記載	2010年
＜３９１ 肝臓疾患用剤＞								［９Ｌ］グリチルリチン・グリシン・システイン剤						
108	強力ネオミノファーゲンシー静注20mL	ミノファーゲン	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	20mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 6.4	無色澄明 6.5 100.0	無色澄明 6.5 101.1	無色澄明 6.5 101.3	無色澄明 6.5 100.8		2010年
109	ネオファーゲン注	大塚工場 ＝ 大鵬薬品	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	20mL	150mg /5%Gul.250mL	20	⑥	無色澄明の液 7.2	無色澄明の液 7.2 100.0	無色澄明の液 6.6 100.1	無色澄明の液 6.5 99.7	無色澄明の液 6.1 99.2		2006年
109	ネオファーゲン注	大塚工場 ＝ 大鵬薬品	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	100mL※	150mg /Sal.100mL ※	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 7.2 100.0	無色澄明の液 7.1 100.6	無色澄明の液 7.1 99.8	無色澄明の液 7.1 98.9	※：ファンガード点滴用50mg 3管を大塚生食注100mLにて溶解した溶液30mLにネオファーゲン注30mLを加えて配合した	2006年
109	ネオファーゲン注	大塚工場 ＝ 大鵬薬品	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	20mL※	150mg /Sal.100mL ※	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 7.1 100.0	無色澄明の液 7.0 99.5	無色澄明の液 7.0 99.9	無色澄明の液 6.9 98.4	※：ファンガード点滴用50mg 3管を大塚生食注100mLにて溶解した溶液50mLにネオファーゲン注10mLを加えて配合した	2006年
109	ネオファーゲン注	大塚工場 ＝ 大鵬薬品	グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤	10mL※	150mg /Sal.100mL ※	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 7.0 100.0	無色澄明の液 7.0 99.8	無色澄明の液 6.9 99.7	無色澄明の液 6.8 98.6	※：ファンガード点滴用50mg 3管を大塚生食注100mLにて溶解した溶液50mLにネオファーゲン注5mLを加えて配合した	2006年
＜３９２ 解毒剤＞								［９ｉ］その他						
110	メイロン	大塚工場 ＝ 大塚製薬	炭酸水素ナトリウム	7% 20mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明の液 7.9	無色澄明の液 8.0 100.0	無色澄明の液 8.1 95.7	無色澄明の液 8.1 90.3	無色澄明の液 8.5 70.1		2007年
＜３９９ 他に分類されない代謝性医薬品＞								［９ｉ］その他						
111	ミラクリッド注射液★	持田	ウリナスタチン	10万単位/2mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 5.22	無色澄明の液 5.22 100.0			無色澄明の液 5.22 100.1	遮光保存	2001年
112	注射用エフオーワイ500★	小野	ガベキサートメシル酸塩	500mg /5%Gul.250mL	75mg	5	①（遮光）	白色の塊	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
113	サンディミュン注射液★	チバガイギー － ノバルティス	シクロスポリン	250mg/5mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の粘性の液 **	無色澄明の液 6.19 100.0			無色澄明の液 6.19 100.8	遮光保存 **：粘性の液のため測定できなかった。	2001年
114	注射用エラスポール100	小野	シベレスタットナトリウム水和物	100mg /Sal.250mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明の液 7.4	無色澄明の液 7.4 100.0	無色澄明の液 7.4 98.4	無色澄明の液 7.3 99.0	無色澄明の液 7.3 96.9		2007年
115	プログラフ注射液5mg★	藤沢	タクロリムス水和物	5mg/1mL	75mg /Sal.10mL	1	①（遮光）	無色澄明の液 7.14	無色澄明の液 5.24 100.0			無色澄明の液 5.14 100.7	遮光保存	2001年
116	注射用フサン50★	鳥居	ナファモスタットメシル酸塩	50mg /5%Gul.10mL	75mg	4	①（遮光）	白色の塊	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜４２１ アルキル化剤＞								［１］クロルエチルアミン系製剤						
117	注射用エンドキサン500mg★	塩野義	シクロホスファミド水和物	1g(2ﾊﾞｲｱﾙ) /Sal.500mL	75mg /Sal.100mL	6	①（遮光）		無色澄明の液 6.02 100.0	無色澄明の液 5.67 100.2			遮光保存	2003年
＜４２２ 代謝拮抗剤＞								［４］シトシン系製剤						
118	キロサイド注	日本新薬	シタラビン	100mg/5mL +Sal.245mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7 100.0	無色澄明の液 6.5 98.6	無色澄明の液 6.5 99.1	無色澄明の液 6.5 97.6		2007年
＜４２３ 抗腫瘍性抗生物質製剤＞								［５］アントラサイクリン系抗生物質製剤						
119	アドリアシン注★	協和発酵	ドキソルビシン塩酸塩	70mg(7ﾊﾞｲｱﾙ) /Sal.100mL	75mg /Sal.100mL	7	①（遮光）		橙赤色の沈殿物 5.98				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2003年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜４２４ 坑腫瘍性植物成分製剤＞								［０］その他						
120	ラステット注100mg/5mL	日本化薬	エトポシド	100mg/5mL +Sal.250mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 3.8	無色澄明 3.9 100.0	無色澄明 3.9 99.6	無色澄明 3.9 99.5	無色澄明 3.9 97.8		2012年
121	オンコビン注射用1mg★	リリー － 塩野義	ビンクリスチン硫酸塩	2mg(2ﾊﾞｲｱﾙ) /Sal.20mL	75mg /Sal.100mL	8	① (遮光)		無色澄明の液 5.79 100.0	無色澄明の液 5.81 100.5			遮光保存	2003年
＜６１１ 主としてグラム陽性菌に作用するもの＞								［２］リンコマイシン系抗生物質製剤						
122	ダラシンＳ注射液★	Ｐ＆Ｕ	クリンダマイシンリン酸エステル	600mg/4mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.75	無色澄明の液 6.74 100.0			無色澄明の液 6.79 99.2	遮光保存	2001年
＜６１１ 主としてグラム陽性菌に作用するもの＞								［３］バンコマイシン製剤						
123	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g*★	リリー － 塩野義	バンコマイシン塩酸塩	1g(2ﾊﾞｲｱﾙ)	50mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の塊及び粉末	白色の懸濁液 3.39				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜６１１ 主としてグラム陽性菌に作用するもの＞								［９ｉ］その他						
124	ハベカシン注射液★	明治製菓	アルベカシン硫酸塩	100mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.13	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
125	注射用タゴシッド★	アベンティス	テイコプラニン	200 mg (力価)	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊及び粉末	無色澄明の液 7.34 100.0			微黄色澄明の液 7.35 92.5	遮光保存	2001年
＜６１２ 主としてグラム陰性菌に作用するもの＞								［２］モノバクタム系抗生物質製剤						
126	アザクタム注射用1g★	エーザイ	アズトレオナム	1g	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊	無色澄明の液 5.02 100.0			無色澄明の液 4.98 100.0	遮光保存	2001年
＜６１２ 主としてグラム陰性菌に作用するもの＞								［３］アミノ糖系抗生物質製剤						
128	注射用硫酸アミカシン「萬有」★	万有	アミカシン硫酸塩	200mg	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 6.60 100.0			無色澄明の液 6.63 98.6	遮光保存	2001年
129	注射用硫酸アミカシン「萬有」200mg	万有	アミカシン硫酸塩	200mg	75mg /5%Gul.10mL	20	⑥	白色の塊	白濁・ゲル状付着物 6.6					2008年
130	イセパシン注射液400★(販売中止)	シェリング・プラウ	イセパマイシン硫酸塩	400mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.74	無色澄明の液 6.51 100.0			無色澄明の液 6.48 98.3	遮光保存 販売中止	2001年
131	イセパシン注射液400(販売中止)	シェリング・プラウ	イセパマイシン硫酸塩	400mg/2mL	75mg /5%Gul.10mL	20	⑥	無色澄明 6.9	無色澄明 6.6 100.0	無色澄明 6.6 100.4	無色澄明 6.5 100.1	無色澄明 6.5 100.6	販売中止	2008年
132	トブラシン注90mg★	塩野義	トブラマイシン	90mg/1.5mL	75mg /Sal.10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.49	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜６１３ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞								［１］ペニシリン系抗生物質製剤						
133	注射用ビクシリン*★	明治製菓	アンピシリンナトリウム	4g(2ﾊﾞｲｱﾙ)	50mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	微黄色澄明の液 9.31 100.0	微黄色澄明の液*1 8.98*1 66.4*1			本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存 ＊1：１時間後に残存率低下	2001年
134	ペントシリン注射用4g★(販売中止)	富山化学	ピペラシリンナトリウム	4g	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の粉末及び塊	無色澄明の液 5.98 100.0			無色澄明の液 5.41 93.8	販売中止 遮光保存	2001年
＜６１３ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞								［２］セフェム系抗生物質製剤						
135	セファメジンα注射用★	藤沢	セファゾリンナトリウム水和物	2g	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 5.57 100.0			無色澄明の液 5.77 94.4	遮光保存	2001年
136	注射用マキシピーム1g★	ＢＭＳ ＝ 明治製菓	セフェピム塩酸塩水和物	1g	75mg /Sal.10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	淡黄色澄明の液 4.37 100.0			帯褐黄色澄明の液 4.57 102.9	遮光保存	2001年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
137	ファーストシン静注用1g★	武田	セフォゾプラン塩酸塩	1g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	帯黄白色の粉末及び塊	黄色澄明の液 8.22 100.0			淡黄色澄明の液 7.42 95.5	遮光保存	2001年
138	パンスポリン静注用1g★	武田	セフォチアム塩酸塩	1g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	微帯黄白色の粉末	淡黄色澄明の液 6.53 100.0			黄色澄明の液 6.51 99.1	遮光保存	2001年
139	モダシン静注用★	グラクソ・ウェルカム ＝ 田辺	セフタジジム水和物	1g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の粉末	微黄色澄明の液 6.61 100.0			微黄色澄明の液 6.38 99.4	遮光保存	2001年
140	ロセフィン静注用1g	中外	セフトリアキソンナトリウム水和物	1g /Sal.100mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	微黄色澄明の液 6.6	微黄色澄明の液 6.5 100.0	微黄色澄明の液 6.5 99.3	微黄色澄明の液 6.5 100.0	微黄色澄明の液 6.6 99.9		2007年
141	ブロアクト静注用★(販売中止)	アベンティス － 塩野義	セフピロム硫酸塩	1g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の粉末	淡黄色澄明の液 7.38 100.0			褐色澄明の液 7.10 97.2	販売中止 遮光保存	2001年
142	セフメタゾン静注用1g	第一三共	セフメタゾールナトリウム	2g(2管)/Sal.200mL	150mg(1管)/Sal.20mL	20	⑥	微黄色澄明 4.5	無色澄明 4.6 100.0	無色澄明 4.4 99.6	無色澄明 4.3 99.9	無色澄明 4.1 97.3		2015年

＜６１３ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞　［３］オキサセフェム系抗生物質

143	フルマリン静注用1g★	塩野義	フロモキセフナトリウム	1g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の塊	無色澄明の液 4.92 100.0			微黄色澄明の液 5.78 98.2	遮光保存	2001年

＜６１３ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞　［４］アミノ糖系抗生物質製剤

144	ゲンタシン注60★	シェリング・プラウ	ゲンタマイシン硫酸塩	60mg/1.5mL	75mg /Sal.10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 5.24	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
145	パニマイシン注射液★	明治製菓	ジベカシン硫酸塩	100mg/2mL	75mg /Sal.10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 7.01	沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年

＜６１３ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞　［９ｉ］その他

146	フィニバックスキット点滴用0.25g	塩野義	ドリペネム水和物	250mg /Sal.100mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.3 100.0	無色澄明 5.2 99.8	無色澄明 5.1 100.3	無色澄明 4.8 100.2		2010年
147	オメガシン点滴用0.3gバッグ＊	明治製菓	ビアペネム	0.3g※	50mg /Sal.100mL※	13	④		無色澄明の液 5.34 100.0			無色澄明の液 4.53 99.6	室温・1,000lux ※：配合剤に添付の溶解液(生理食塩液100mL)に本剤を溶解	2003年
149	メロペン点滴用0.5g★	住友製薬	メロペネム三水和物	0.5g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 7.75 100.0		微黄色澄明の液 7.74 95.9		遮光保存	2001年
149	メロペン点滴用0.5g★	住友製薬	メロペネム三水和物	0.5g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 7.74 100.0			黄色澄明の液 7.64 88.9	遮光保存	2001年

＜６１３ 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞　［９Ｊ］配合剤

150	チエナム点滴用★	萬有	イミペネム(0.5g)・シラスタチン(0.5g)	0.5g /Sal.100mL	75mg	12	①(遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 7.22 100.0			淡黄色澄明の液 5.99 97.3	遮光保存	2001年
151	ユナシン－Ｓキット静注用1.5g	ファイザー	スルバクタムナトリウム(0.5g)・アンピシリンナトリウム(1g)	1.5g /Sal.100mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 9.3	無色澄明 9.0 100.0	無色澄明 8.7 94.0	無色澄明 8.5 89.9	無色澄明 8.2 77.1		2010年
152	スルペラゾン静注用1g★	ファイザー	スルバクタムナトリウム(0.5g)・セフォペラゾンナトリウム(0.5g)	1g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の塊	無色澄明の液 5.56 100.0			微黄色澄明の液 5.20 100.4	遮光保存	2001年
153	ゾシン静注用4.5	大鵬薬品 ＝ 大正富山	タゾバクタム(0.5g)・ピペラシリン水和物(4g)	4.5g /Sal.100mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4 100.0	無色澄明 5.3 100.2	無色澄明 5.2 101.1	無色澄明 5.0 100.5		2011年
154	カルベニン点滴用0.5g★	三共	パニペネム(0.5g)・ベタミプロン(0.5g)	0.5g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	微帯黄白色の塊及び白色の塊	淡黄色澄明の液 7.04 100.0		黄色澄明の液 6.43 99.2		遮光保存	2001年
154	カルベニン点滴用0.5g★	三共	パニペネム(0.5g)・ベタミプロン(0.5g)	0.5g	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	微帯黄白色の塊及び白色の塊	淡黄色澄明の液 7.01 100.0			褐色澄明の液 5.75 87.7	遮光保存	2001年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

注）遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した（＊：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量	本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	配合後 ３時間	配合後 ６時間	配合後 ２４時間	備考	実施時期
＜６１５ 主としてグラム陽性・陰性菌，リケッチア，クラミジアに作用するもの＞								［２］テトラサイクリン系抗生物質製剤						
155	点滴静注用ミノマイシン＊★	ワイスレダリー － 武田	ミノサイクリン塩酸塩	200mg(2ﾊﾞｲｱﾙ)	50mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	帯黄白色の塊	淡黄色の懸濁液 2.34				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜６１７ 主としてカビに作用するもの＞								［３］アムホテリシンＢ製剤						
156	ファンギゾン★	ブリストル	アムホテリシンＢ(1)	50mg(力価) /5%Gul.500mL	75mg	5	①(遮光)	黄色の粉末及び塊	淡黄色澄明の液 7.12 100.0			淡黄色澄明の液 7.10 96.7	遮光保存	2001年
＜６２４ 合成抗菌剤＞								［１］ピリドンカルボン酸系製剤						
157	シプロキサン注300mg＊	バイエル ＝ 明治製菓	シプロフロキサシン	※	50mg /Sal.100mL	14	－		白色の沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 ※：ｼﾌﾟﾛｷｻﾝ(300mg/150mg)の生理食塩液150mLによる希釈液(300mL)より100mLをとり、ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ50mgの生理食塩液100mL溶液を配合	2003年
158	パズクロス注500＊	三菱ウェルファーマ	パズフロキサシンメシル酸塩	500mg/100mL	50mg /Sal.5mL	15	－		白色の沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌，配合薬剤の電子添文に「他剤及び輸液と配合した場合に，配合変化（白濁等）が認められているため，原則として他剤及び輸液と配合しないこと」と記載	2003年
159	クラビット点滴静注500mg/20mL	第一三共	レボフロキサシン水和物（遺伝子組換え）	500mg/20mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	黄色澄明 4.9	結晶析出 4.9	結晶析出 4.9	結晶析出 4.9	結晶析出 4.9		2011年
160	ザイボックス注射液600mg	ファイザー	リネゾリド	600mg/300mL	75mg /Sal.10mL	23	⑥	無色澄明 4.8	無色澄明 4.8 100.0	無色澄明 4.8 100.4	無色澄明 4.8 101.3	無色澄明 4.8 100.2		2016年
＜６２５ 抗ウィルス剤＞								［０ｉ］その他						
161	点滴静注用ゾビラックス＊★	住友製薬 － グラクソ・ウェルカム	アシクロビル	1g(4ﾊﾞｲｱﾙ)	50mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の塊	無色澄明の液 11.21 100.0	無色澄明の液＊1 11.19＊1 15.6＊1			本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存 ＊1：１時間後に残存率低下	2001年
162	点滴静注用デノシン★	田辺	ガンシクロビル	500mg	75mg /Sal.10mL	2	①(遮光)	白色の塊	無色澄明の液 10.74 100.0			無色澄明の液 10.80 43.8**	本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存 **：イニシャル時点の繰り返し注入において70%以上のピーク面積の減少が認められた。	2001年
163	アラセナーＡ★	持田 ＝ ＳＢＳ	ビダラビン	300mg /5%Gul.500mL	75mg	5	①(遮光)	白色の塊	無色澄明の液 3.87 100.0			無色澄明の液 3.84 97.1	遮光保存	2001年
＜６３４ 血液製剤類＞								［３］血漿分画製剤						
164	献血静注グロブリン”化血研”(2500mg)＊	化血研 ＝ アズウェル ＝ アベンティス	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	※	※	16	－		白色の沈殿析出				本剤の電子添文に配合禁忌と記載 ※：ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ点滴用50mg1ﾊﾞｲｱﾙの生理食塩液100mL溶液，献血静注グロブリン“化血研”の注射用水50mL溶液を各10mL配合	2003年
＜６４１ 坑原虫剤＞								［９ｉ］その他						
165	ベナンバックス注用300mg	サノフィ・アベンティス	ペンタミジンイセチオン酸塩	300mg /D.W.5mL	75mg /Sal.10mL	20	⑥	無色澄明 5.4	結晶析出 5.3	結晶析出 5.3	結晶析出 5.4	結晶析出 5.3	配合薬剤の電子添文に「生理食塩液・ブドウ糖注射液以外の注射液と混合または希釈して使用しないこと」と記載	2010年
＜６４１ 坑原虫剤＞								［９Ｊ］配合剤						
166	バクトラミン注★	ロシュ	スルファメトキサゾール(400mg)・トリメトプリム(80mg)	5mL	75mg /Sal.10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 9.70	無色澄明の液 9.23 100.0	無色澄明の液 9.18 85.8			本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
166	バクトラミン注★	ロシュ	スルファメトキサゾール(400mg)・トリメトプリム(80mg)	5mL	75mg /Sal.10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 9.70	無色澄明の液 9.20 100.0			無色澄明の液 9.10 38.7	本剤の電子添文に配合禁忌と記載 遮光保存	2001年
＜８１１ あへんアルカロイド系麻薬＞								［４］モルヒネ系製剤						
167	モルヒネ塩酸塩注射液50mg「シオノギ」	塩野義	モルヒネ塩酸塩水和物	50mg/5mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	無色澄明 3.0	無色透明 3.6 100.0	無色透明 3.6 98.5	無色透明 3.6 98.2	無色透明 3.5 97.9		2019年
＜８１１ あへんアルカロイド系麻薬＞								［９ｉ］その他						
168	フェンタニル注射液0.1mg「第一三共」	第一三共プロファーマ＝第一三共	フェンタニルクエン酸塩	0.1mg/2mL	75mg /Sal.10mL	22	⑥	無色澄明 5.3	無色透明 5.3 100.0	無色透明 5.4 99.2	無色透明 5.2 98.9	無色透明 5.2 98.8		2019年

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　　配合量の /(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

掲載番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の使用量		本剤の使用量	配合法	保存方法	外観／ｐＨ／残存率 配合剤	配合後 配合直後	1時間	2時間	3時間	6時間	24時間	備考	実施時期
1	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	50mg /Sal.100mL	17-ｉ	⑤(遮光)		淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL						6.06					5.96		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.0		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1(販売中止)	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	300mg /Sal.100mL	17-ⅱ	⑤(遮光)		淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL						6.05					5.96		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.4		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	50mg /Sal.100mL	17-ⅲ	⑤(遮光)		微黄色澄明の液					微黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL						6.07					5.95		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.2		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	300mg /Sal.100mL	17-ⅳ	⑤(遮光)		微黄色澄明の液					微黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL						6.05					5.96		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.6		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
2	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	50mg /Sal.100mL	18-ｉ	⑤(遮光)		淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止 タガメット注射液200mg(シメチジン)：本剤の電子添文に配合禁忌の記載	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL						6.04					5.95		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.5		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL													
	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	300mg /Sal.100mL	18-ⅱ	⑤(遮光)		淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止 タガメット注射液200mg(シメチジン)：本剤の電子添文に配合禁忌の記載	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL						6.04					5.96		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.4		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL													
	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	50mg /Sal.100mL	18-ⅲ	⑤(遮光)		微黄色澄明の液					微黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止 タガメット注射液200mg(シメチジン)：本剤の電子添文に配合禁忌の記載	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL						6.06					5.97		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.1		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL													
	トリパレン２号*4(販売中止)	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL	左欄記載の配合溶液より100mLをとり本剤と配合	300mg /Sal.100mL	18-ⅳ	⑤(遮光)		微黄色澄明の液					微黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL *3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ *4 トリパレン２号販売中止 タガメット注射液200mg(シメチジン)：本剤の電子添文に配合禁忌の記載	2002年
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL						6.05					5.94		
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	１セット						100.0					100.1		
	ミネラリン注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL													
	ヒューマリンR注U-40*1	日本ｲｰﾗｲﾘﾘｰ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	10mL*2													
	アスパラK注射液	田辺製薬	Ｌ－アスパラギン酸カリウム	10mL													
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL*3													
	タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL													
3	ピーエヌツイン－３号	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	※		※	19	⑥		微黄色澄明の液					微黄色澄明の液		2002年
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	※						5.15					5.13		
	※：ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ点滴用50mg 6ﾊﾞｲｱﾙを生理食塩液100mLの各5mLで溶解して元の生理食塩液に戻した液(300mg/100mL)の20mLと，ﾋﾞﾀｼﾞｪｸﾄ(A液＋B液)とﾋﾟｰｴﾇﾂｲﾝ-3号1,200mLを混合した液の20mLを配合									100.0					99.4		
4	アミノトリパ２号*1	大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質(2-2)	※		※	19	⑥		微黄色澄明の液					微黄色澄明の液	*1アミノトリパ２号販売中止	2002年
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	※						5.54					5.49		
	※：ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ点滴用50mg 6ﾊﾞｲｱﾙを生理食塩液100mLの各5mLで溶解して元の生理食塩液に戻した液(300mg/100mL)の20mLと，ﾋﾞﾀｼﾞｪｸﾄ(A液＋B液)とｱﾐﾉﾄﾘﾊﾟ900mLを混合した液の20mLを配合									100.0					100.6		

*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止　*2 薬価単位は40単位/1mLだが１ｱﾝﾌﾟﾙは400単位/10mL　*3 20mLの1/2ｱﾝﾌﾟﾙ

（注）製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載　配合量の /(溶解)，+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水，Sal.は生理食塩液，Gul.はブドウ糖注射液，Sol.は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用配合変化試験

ファンガード点滴用と配合の予想される市販の薬剤との配合変化試験を実施した。試験方法を以下に示す。

1. 試料

１）ファンガード点滴用

・ファンガード点滴用50mg

・ファンガード点滴用75mg

２）配合薬剤

配合薬剤は配合変化表を参照。

2. 配合方法

配合薬剤が輸液の場合は，ファンガード点滴用1バイアルをそのまま輸液に溶解した。その他の薬剤の場合は，ファンガード点滴用1バイアルを生理食塩液，又は5w/v%ブドウ糖注射液10～500mLに溶かしたものと他剤とを配合した。配合変化試験では主にファンガード点滴用75mgを使用しているが，一部ファンガード点滴用50mgも使用した。

配合方法の詳細を次に示す。

1）配合法1

ファンガード点滴用1バイアルに生理食塩液10mLを加えて溶かしたものに，配合薬剤1アンプルを加えてよく振り混ぜて，試料溶液とする。

2）配合法2

ファンガード点滴用１バイアルに生理食塩液10mL（又はファンガード点滴用2バイアルに生理食塩液20mL）を加えて溶かしたものに（溶解液が添付されているものは，あらかじめ溶解液を用いて溶解しておく），配合薬剤1アンプル（ただし，注射用ビクシリン2ｇ，塩酸バンコマイシン点滴静注用 0.5ｇ及び点滴静注用ミノマイシンは2バイアル，また，点滴静注用ゾビラックスは4バイアル）を加えて溶かし，試料溶液とする。

3）配合法3

輸液又は補液の10mL を用いて，ファンガード点滴用1バイアルを溶かしたものを，元の輸液又は補液に戻し，よく振り混ぜて試料溶液とする。

4）配合法4

配合薬剤１バイアルを5w/v%ブドウ糖注射液10mLに溶かしたものを，ファンガード点滴用1バイアルに加えて溶かし，試料溶液とする。

5）配合法5

配合薬剤1バイアルに5w/v%ブドウ糖注射液250mL（注射用エフオーワイ500）又は，500mL（アラセナ－Ａ及びファンギゾン）を加えて溶かした後，この液10mLを用いてファンガード点滴用1バイアルを溶かす。この液を元に戻し，よく振り混ぜて試料溶液とする。

6）配合法6

配合薬剤（注射用エンドキサン500mg）2バイアルを生理食塩液500mLに溶かし，ファンガード点滴用75mg　1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした液と混合し，試料溶液とする。

7）配合法7

配合薬剤（アドリアシン注）7バイアルを生理食塩液100mLに溶かし，ファンガード点滴用75mg　1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした液と混合し，試料溶液とする。

8）配合法8

配合薬剤（オンコビン注射用1mg）2バイアルを生理食塩液20mLに溶かし，ファンガード点滴用75mg　1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした液と混合し，試料溶液とする。

12）配合法12

配合薬剤1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした後，この液10mLを用いてファンガード点滴用1バイアルを溶かす。この液を元に戻し，よく振り混ぜて試料溶液とする。

13）配合法13

配合薬剤（オメガシン点滴用0.3gバッグ）の溶解液バッグ（生理食塩液100mL）のゴム栓部分から生理食塩液5mLをとり，ファンガード点滴用50mg　1バイアルに加えて溶かし，元の溶解液バッグに戻して均一になるまで振り混ぜる。その後，溶解液部分を手で押して隔壁を開通させ，更に溶解液部分を繰り返し押して薬剤を完全に溶解させ，試料溶液とする。

14）配合法14

ファンガード点滴用50mg　1バイアルを生理食塩液5mLに溶かし，生理食塩液を加えて100mLとしたものと，配合薬剤（シプロキサン注300mg　150mL）に生理食塩液150mLを加えて混合し300mLとしたものを各100mL混合し，試料溶液とする。

15）配合法15

ファンガード点滴用50mg　1バイアルを生理食塩液5mLに溶かした後，この液を配合薬剤（パズクロス注500）100mLに加え，試料溶液とする。

16）配合法16

ファンガード点滴用50mg　1バイアルを生理食塩液100mLに溶かしたものと，配合薬剤（献血静注グロブリン“化血研”（2500mg））を注射用水50mLに溶かしたものを各10mL配合し，試料溶液とする。

17）配合法17

ファンガード点滴用50mg　1バイアルまたは6バイアルを生理食塩液100mLに溶かしたものと，７種の配合薬剤を混合したIVH液100mLを以下の処方で配合し，試料溶液とする。

種類	品名	容量	配合No.			
			i	ii	iii	iv
ファンガード液	ファンガード点滴用（生理食塩液100mLに溶解）	50 mg	1バイアル（50mg）	6バイアル（300mg）	1バイアル（50mg）	6バイアル（300mg）
IVH液	トリパレン2号	600 mL	1バッグ		2バッグ	
	アミパレン	300 mL	1バッグ		2バッグ	
	ビタジェクト	5mL×2	1セット			
	ミネラリン注	2mL	1アンプル			
	ヒューマリンR注 U-40	10 mL	1バイアル			
	アスパラK 注射液	10 mL	1アンプル			
	大塚食塩注 10%	20 mL	1/2アンプル（10 mLを用いる）			

18）配合法18

ファンガード点滴用50mg　1バイアルまたは6バイアルを生理食塩液100mLに溶かしたものと，７種の配合薬剤を混合したIVH液にタガメット注射液200mgを加えたもの100mLを以下の処方で配合し，試料溶液とする。

種類	品名	容量	配合No.			
			i	ii	iii	iv
ファンガード液	ファンガード点滴用（生理食塩液100mLに溶解）	50 mg	1バイアル（50mg）	6バイアル（300mg）	1バイアル（50mg）	6バイアル（300mg）
IVH液	トリパレン2号	600 mL	1バッグ		2バッグ	
	アミパレン	300 mL	1バッグ		2バッグ	
	ビタジェクト	5mL×2	1セット			
	ミネラリン注	2mL	1アンプル			
	ヒューマリンR注 U-40	10 mL	1バイアル			
	アスパラK 注射液	10 mL	１アンプル			
	大塚食塩注 10%	20 mL	１/２アンプル（10 mLを用いる）			
―	タガメット注射液200mg	2mL	１アンプル			

19）配合法19

ファンガード点滴用50mg　6バイアルを生理食塩液100mLの各5mLで溶解して元の生理食塩液に戻した液の20mLと，配合薬剤（ビタジェクトA液及びB液＋ピーエヌツイン‐3号1200mL又はアミノトリパ2号900mL）を混合したIVH液20mLを配合し，試料溶液とする。

20）配合法20

ファンガード点滴用・配合薬剤はそれぞれの配合量に記載の比率にて配合する。

21）配合法21

配合薬剤をシリンジで採取し生理食塩液250mLのソフトバッグに注入し溶かした液に，生食注10 mLをシリンジで採取しファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させた液を注入して混合し，試料溶液とする。

22）配合法22

生食注10 mLをシリンジで採取し，ファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させ，溶解後の液をシリンジに吸入し，さらに配合薬剤を全量吸入しして混合し，試料溶液とする。

23）配合法23

生食注10 mLをシリンジで採取し，ファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させ，溶解後の液をシリンジに吸入し，配合薬剤のバッグに注入して混合し，試料溶液とする。

24）配合法24

生食注10 mLをシリンジで採取し，ファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させ，溶解後の液をシリンジに吸入し，大室液と小室液を混ぜ合わせた配合薬剤のバッグに注入して混合し，試料溶液とする。

３．保存条件及び保存期間

①試料溶液を無色のガラス瓶（配合法3の場合は輸液の容器，配合法9及び10の場合は生理食塩液バッグ）に入れ，遮光バッグで覆った後，室温・室内散光下で保存する。
②試料溶液を輸液バッグ（プラスチックバッグ）で保存し，室温・室内散光下で保存する。
③試料溶液を無色のガラス瓶に入れ，アルミ箔で覆った後，室温・室内散光下で保存する。
④試料溶液を輸液バッグ（プラスチックバッグ）で保存し，室温・1000ルクスで保存する。
⑤試料溶液を褐色ガラス容器（気密容器）で保存し，室温・室内散光下で保存する。
⑥試料溶液を無色ガラス容器（気密容器。配合法21の場合は生理食塩液バッグ，配合法22の場合はシリンジ内，配合法23及び24の場合は配合薬剤のバッグ）で保存し，室温・室内散光下で保存する。

４．試験項目

1）外観
2）ｐＨ
3）力価試験（液体クロマトグラフ法）

参考：【配合薬剤掲載一覧（五十音順）】

＜各製品については、各々の電子添文等をご確認ください。＞

★：遮光条件で試験実施

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
あ行	アクチット輸液	アクチット注	100
	アザクタム注射用1g★	同左	126
	アザクタム注射用1g	同左	127
	アスパラカリウム注10mEq	同左	48
	アセリオ静注液1000mgバッグ	同左	3
	アドナ注（静脈用）100mg	アドナ(AC-17)注射液(静脈用)★	101
	アドリアシン注用10	アドリアシン注★	119
	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	注射用硫酸アミカシン「萬有」★	128
	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	注射用硫酸アミカシン「萬有」200mg	129
	アミグランド輸液	同左	76
	アミノトリパ１号輸液(販売中止)	同左	62
	アミノトリパ２号(販売中止)	同左	63
	アミノフリード★(販売中止)	同左	64
	アミノレバン点滴静注	同左	58
	アミパレン輸液	同左	59
	アラセナーＡ点滴静注用300mg	アラセナーＡ★	163
	アリナミンＦ100注★	同左	34
	ＥＬ－３号輸液	ＥＬ－３号★	86
	イセパシン注射液400★(販売中止)	同左	130
	イセパシン注射液400(販売中止)	同左	131
	イノバン注200mg	イノバン注★	7
	ヴィーン３Ｇ輸液	ヴィーン３Ｇ注*★	99
	ヴィーンＤ輸液	ヴィーンＤ注★	90
	ヴィーンＦ輸液	ヴィーンＦ注★	89
	エルネオパ１号輸液	同左	74
	エルネオパ２号輸液	同左	75
	エレメンミック注	同左	50
	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g*★	同左	123
	オーツカＭＶ注★	同左	41
	大塚食塩注10%	同左	79
	大塚糖液5%	同左	52
	大塚糖液5%★	同左	53
	大塚糖液50%	同左	55
	オメガシン点滴用0.3gバッグ*	同左	147
	オメガシン点滴用0.3gバッグ	同左	148
	オメプラール注用20	同左	21
か行	オンコビン注射用1mg★	同左	121
	カイトリル注3mg	カイトリル注射液★	23
	ガスター注射液20mg	同左	19
	カルチコール注射液8.5%10mL	同左	46
	カルベニン点滴用0.5g★	同左	154
	キシリトール注20%	同左	56
	キドミン輸液	同左	61
	強力ネオミノファーゲンシー静注20mL	同左	108
	キロサイド注100mg	キロサイド注	118
	クラビット点滴静注500mg/20mL	同左	159
	グラン注射液150	同左	107
	グリセオール注★	同左	15
	ケイツーＮ静注10mg	ケイツーＮ注★	38
	Ｋ．Ｃ．Ｌ．点滴液15%	同左	49
	ＫＮ３号輸液	ＫＮ補液３Ｂ★	84
	献血グロブリン注射用2500mg「化血研」	献血静注グロブリン”化血研”(2500mg)*	164
	ゲンタシン注60★	同左	144
さ行	ザイボックス注射液600mg	同左	160
	ザンタック注射液100mg	ザンタック注射液★(販売中止)	20
	サンディミュン点滴静注用250mg	サンディミュン注射液★	113

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
さ行	シーパラ注	同左	45
	シプロキサン注300mg*	同左	157
	水溶性プレドニン50mg★	同左	30
	スルペラゾン静注用1g★	同左	152
	セファメジンα注射用★	同左	135
	セフメタゾン静注用1g	同左	142
	ゾシン静注用4.5	同左	153
	ソセゴン注射液30mg★	同左	5
	ゾビラックス点滴静注用250	点滴静注用ゾビラックス*★	161
	ゾフラン注4★(販売中止)	同左	22
	ソリターＴ１号輸液	ソリターＴ１号★	81
	ソリターＴ２号輸液	ソリターＴ２号★	88
	ソリターＴ３号輸液	ソリターＴ３号★	82
	ソリターＴ４号輸液	ソリターＴ４号★	87
	ソル・コーテフ注射用100mg	ソル・コーテフ★	27
	ソル・メドロール静注用1000mg	ソル・メドロール1000★	31
	ソルダクトン静注用200mg	ソルダクトン200mg★	10
	ソルデム１輸液	同左	80
	ソルデム３Ａ輸液	同左	83
	ソルラクトＳ輸液	ソルラクトＳ★	94
た行	ソルラクト輸液	ソルラクト★	91
	ダイアモックス注射用500mg	注射用ダイアモックス★	11
	タガメット注射液200mg★	同左	18
	ダラシンＳ注射液600mg	ダラシンＳ注射液★	122
	チエナム点滴静注用0.5g	チエナム点滴用★	150
	注射用エフオーワイ500★	同左	112
	注射用エラスポール100	同左	114
	注射用エンドキサン500mg★	同左	117
	注射用タゴシッド200mg	注射用タゴシッド★	125
	注射用フサン50★	同左	116
	注射用マキシピーム1g★	同左	136
	ツインパル輸液	ツインパル	65
	低分子デキストランＬ注★	同左	96
	1%ディプリバン注	同左	1
	デカドロン注射液3.3mg	デカドロン注射液★	28
	デノシン点滴静注用500mg	点滴静注用デノシン★	162
	テルモ糖注5%	同左	54
	ドブトレックス注射液100mg★	同左	9
	トブラシン注90mg★	同左	132
	ドプラム注射液400mg	ドプラム注射液★	16
	トランサミン注5%	トランサミン注★	102
	ドルミカム注射液10mg	同左	2
な行	ナゼア注射液0.3mg★	同左	24
	ネオアミユー輸液	同左	60
	ネオパレン１号輸液	ネオパレン１号	72
	ネオパレン２号輸液	ネオパレン２号	73
	ネオファーゲン静注20mL	ネオファーゲン注	109
	ネオフィリン注250mg	ネオフィリン注★	6
	ネオラミン・スリービー液（静注用）★	同左	39
	ネオラミン・マルチＶ★(販売中止)	同左	42
	ノボ・ヘパリン注1万単位/10mL	ノボ・ヘパリン注1万単位	106
	ノボリンＲ注100単位/mL	同左	32
は行	ノルアドレナリン注1mg	同左	26
	ハイカリックＲＦ輸液	同左	57
	バクトラミン注★	同左	166
	パズクロス点滴静注液500mg	パズクロス注500*	158

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
は行	パニマイシン注射液100mg	パニマイシン注射液★	145
	ハベカシン注射液100mg	ハベカシン注射液★	124
	ハルトマン輸液「NP」	ハルトマン液-ヨシトミ★	93
	パレプラス輸液	同左	78
	バンスポリン静注用1g★	同左	138
	パントシン注10%★	同左	36
	パントール注射液100mg	同左	37
	ハンプ注射用1000	同左	14
	ピーエヌツイン－１号輸液	同左	66
	ピーエヌツイン－２号輸液	同左	67
	ピーエヌツイン－３号輸液	ピーエヌツイン－３号*	68
	ビーフリード輸液	ビーフリード点滴静注用	77
	ピクシリン注射用2g	注射用ピクシリン*★	133
	ビソルボン注4mg	ビソルボン注射液★	17
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	44
	ビタメジン静注用★	同左	40
	ヒューマリンＲ注100単位/mL	同左	33
	ファーストシン静注用1g★	同左	137
	ファンギゾン注射用50mg	ファンギゾン★	156
	フィジオ35輸液	同左	98
	フィジオゾール３号輸液	フィジオゾール・３号★	85
	フィニバックスキット点滴静注用0.25g	フィニバックスキット点滴用0.25g	146
	フェジン静注40mg	同左	47
	フェンタニル注射液0.1mg「第一三共」	同左	168
	フラグミン静注5000単位/5mL	同左	103
	フラビタン注射液20mg★	同左	35
	プリンペラン注射液10mg	プリンペラン注射液★	25
	フルカリック１号輸液	フルカリック１号	69
	フルカリック２号輸液	フルカリック２号	70
	フルカリック３号輸液	フルカリック３号	71
	フルマリン静注用1g★	同左	143
	プレドパ注200(販売中止)	同左	8
	プロアクト静注用1g(販売中止)	プロアクト静注用★(販売中止)	141
	プログラフ注射液5mg★	同左	115
	ペナンバックス注用300mg	同左	165
	ヘパリンカルシウム注1万単位/10mL「ＡＹ」	ヘパリンカルシウム注射液	104
	ヘパリンカルシウム注1万単位/10mL「ＡＹ」	ヘパリンカルシウム注1万単位/10mL「味の素」	105
	ペルジピン注射液10mg	同左	13
	ペントシリン注射用4g★(販売中止)	同左	134
	ポタコールＲ輸液	ポタコールＲ★	97
ま行	マルタミン注射用★	同左	43
	ミネラリン注	同左	51
	ミノマイシン点滴静注用100mg	点滴静注用ミノマイシン*★	155
	ミラクリッド注射液10万単位	ミラクリッド注射液★	111
	メイロン静注7%	メイロン	110
	メロペン点滴用バイアル0.5g	メロペン点滴用0.5g★	149
	モルヒネ塩酸塩注射液50mg「シオノギ」	同左	167
	モダシン静注用1g	モダシン静注用★	139
や行	ユナシンーＳキット静注用1.5g	同左	151
ら行	ラクテックＧ輸液	ラクテックＧ注★	95
	ラクテック注★	同左	92
	ラシックス100mg注★	同左	12
	ラステット注100mg/5mL	同左	120
	リンデロン注2mg(0.4%)	リンデロン注★	29
	レペタン注0.2mg / レペタン注0.3mg	レペタン注★	4
	ロセフィン静注用1g	同左	140

参考：【配合薬剤（多剤）掲載一覧（五十音順）】

＜各製品については、各々の電子添文等をご確認ください。＞

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
配合液1	トリパレン２号(販売中止)	同左	1
	アミパレン輸液	アミパレン	
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	
	ミネラリン注	同左	
	ヒューマリンR注U-40(販売中止)	同左	
	アスパラカリウム注10mEq	アスパラK注射液	
	大塚食塩注10%	同左	
配合液2	トリパレン２号(販売中止)	同左	2
	アミパレン輸液	アミパレン	
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	
	ミネラリン注	同左	
	ヒューマリンR注U-40(販売中止)	同左	
	アスパラカリウム注10mEq	アスパラK注射液	
	大塚食塩注10%	同左	
	タガメット注射液200mg	同左	
配合液3	ピーエヌツイン－３号輸液	ピーエヌツイン - ３号	3
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	
配合液4	アミノトリパ２号輸液	アミノトリパ２号(販売中止)	4
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	

キャンディン系抗真菌剤

ファンガード点滴用25mg／50mg／75mg

注射用ミカファンギンナトリウム

一般名又は成分 単位/容量 [溶解液の種類]	投与法	用時溶解	規格 pH域	試料 pH	(A) N/10HCl (B) N/10NaOH	変化点pH 又は最終pH	移動指数	変化所見	希釈試験								浸透圧比 (約)
									20mL				500mL				
									0	30min	1hr	3hr	0	30min	1hr	3hr	
ミカファンギンナトリウム 25mg・50mg・75mg [生理食塩液]	点	●	4.5～8.0 (25mg/ 100mL)														1
			4.5～8.0 (50mg/ 100mL)														1
			4.5～8.0 (75mg/ 100mL)														1
				6.00 (100mg /100mL)	(A) 10.0	2.10	3.90	変化なし									–
					(B) 10.0	11.80	5.80	変化なし*									
			4.5～8.0 (150mg/ 100mL)	6.00 (150mg /100mL)	(A) 10.0	2.10	3.90	変化なし									1
					(B) 10.0	11.80	5.80	変化なし*									
			4.5～8.0 (300mg/ 100mL)														1
ミカファンギンナトリウム 25mg・50mg・75mg [5%ブドウ糖注射液]	点	●	3.5～7.0 (25mg/ 100mL)														1
			3.5～7.0 (50mg/ 100mL)														1
			3.5～7.0 (75mg/ 100mL)														1
			3.5～7.0 (150mg/ 100mL)														1
			3.5～7.0 (300mg/ 100mL)														1

参考文献）社内報告書

＊pH変動試験では酸性、アルカリ性いずれにおいても外観変化所見は認められなかったが、別の試験においてpH8.5で24時間後に残存率が86.4％になったとの報告がある。

〔凡　例〕

1. **一般名又は成分、単位／容量**
用時溶解して用いる注射薬はその溶解に用いた溶解液の種類を［　］に記入した。
2. **投与法**
静は静脈内注射、点は点滴静注、筋は筋肉内注射、皮は皮下注射、動は動脈内注射を意味する。
3. **用時溶解**
●印は用時溶解して用いる注射薬を示し、※は用時懸濁して用いる注射薬を示す。
空欄は溶解済の注射薬を示す。
4. **規格pH域**
電子添文記載のpH域を記入した（用時溶解の製剤は左欄の［　］に記載の溶解液を用い、製品の容量／溶解液の液量を（　）内に示した）。
5. **試料pH**
実験に供した注射薬のpHで、用時溶解して用いる注射薬では一般名又は成分単位／容量に記入された条件におけるpHを示す（用時溶解の製剤は左欄の［　］に記載の溶解液を用い、製品の容量／溶解液の液量を（　）内に示した）。
6. **（A）N/10 HCl、（B）N/10 NaOH**
0.1N HCl、0.1N NaOHにより上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時の滴下mL数とし、外観変化が認められなかった場合は10mLとした。
変化点pHまたは最終pH：上記滴定により、外観変化が認められたpHを変化点pHとし、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpHを最終pHとした。
移動指数：上記pHと試料pHとの差を示す。
7. **変化所見**
0.1N HCl、0.1N NaOHの滴定における外観変化を記入した。
8. **浸透圧比**
浸透圧比は氷点降下法により測定し、生理食塩液を1として比であらわした（電子添文記載の値を記載した）。
9. **その他**
用時溶解以外の空欄は、データなしを意味する。

（幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976の凡例に基づく）

注射薬のpH変動試験法及び希釈試験法

1. **試料**
1アンプル、1バイアル中の容量が10mL以上の場合は10mL、10mL未満の場合は1アンプル、1バイアルの容量をもって試料とする。用時溶解して用いる注射薬は添付の溶解液、又は電子添文中に指定の注射液の指定量で溶解する。
2. **pH変動試験法**
0.1N HCl、0.1N NaOHにより、上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時のpH（変化点pH）及び滴定量を測定する。また、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpH（最終pH）を測定する。
3. **希釈試験**
外観変化の認められるものについては変化点pHにおいて、さらに20mLおよび500mLの蒸留水を加えて良く撹拌し、外観変化の状態を希釈直後、30分、1時間、3時間、室温にて観察する。

（幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976 P.32に基づく）